

令和8年度(2026 年度) 千葉大学文学部人文学科

行動科学コース

3 年 次 編 入 学 入 試

筆記試験

注意事項

1. この冊子は、監督者から解答を始めるよう合図があるまで開かないでください。
2. 監督者から指示があったら、解答用紙の上部の所定欄には受験番号を必ず記入してください。
3. 解答は横書きとします。
4. 解答用紙は、記入の有無にかかわらず、持ち帰ってはいけません。
5. この冊子は持ち帰ってはいけません。
6. 落丁、乱丁又は印刷の不備なものがあつたら申し出てください。

以下の英文は、宇宙開発と社会の関わりについて論じたものである。これを読んで、問1～問5に日本語で答えなさい。英文中で*のついた表現には末尾に注がある。また、[...]は文章の途中が省略されていることを示す。

問1. 下線部①が指す内容を、120字以内で説明せよ。

問2. 下線部②を180字以内で和訳せよ。

問3. 下線部③に該当する科学技術として、現在ある事例や近い将来実現しそうな事例を宇宙開発以外で一つ挙げ、その科学技術が該当する理由を240字以内で述べよ。

問4. 下線部④を180字以内で和訳せよ。

問5. 宇宙開発と社会の関わりに対する著者らの提案を、自分なりにポイントを絞ってまとめた上で、それに対する自分の考えを自分の学問的関心の観点から600字以内で述べよ。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開
していません。

著作権保護の観点から、公開
していません。

出典：Timiebi Aganaba, et al. (2025). Why space exploration must not be left to a few powerful nations. *Nature*, 641: 1098-1100. (問題作成の都合上、原文に一部手を加えている。)

注)

- * Indigenous 先住民族の
- * mogul 力のある人物
- * geostationary 地球静止軌道上の
- * appropriate 私的に利用する
- * liability 責任
- * advocacy 擁護、提言
- * conflate 混同する
- * incumbent 義務がある、責任がある
- * disseminate 広める
- * on the drawing board 計画の段階で